<記入例①> 社会福祉施設(入所) × 施設外避難可能タイプ

【施設名称〇〇〇〇】

土砂災害警戒避難確保計画

作成年月日:2018年7月

(様式1)

年 月 日作成

1.計画の目的

この計画は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関す る法律(以降、「土砂災害防止法」と称す)第八条の二第1項に基づくものであり、 本施設の利用者の土砂災害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的 とする。

2.計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは、土砂災害防止法第八 条の二第2項に基づき、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

3.計画の適用範囲

この計画は、本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。 【施設の状況】

人数					
昼間	·夜間	休	E		
利用者	施設職員	利用者	施設職員		
昼間	昼間	休日	休日		
約 100 名	約 30 名				
夜間	夜間	約 100 名	約 20 名		
約 100 名	約 5 名				

4.土砂災害の危険性および避難対応の把握

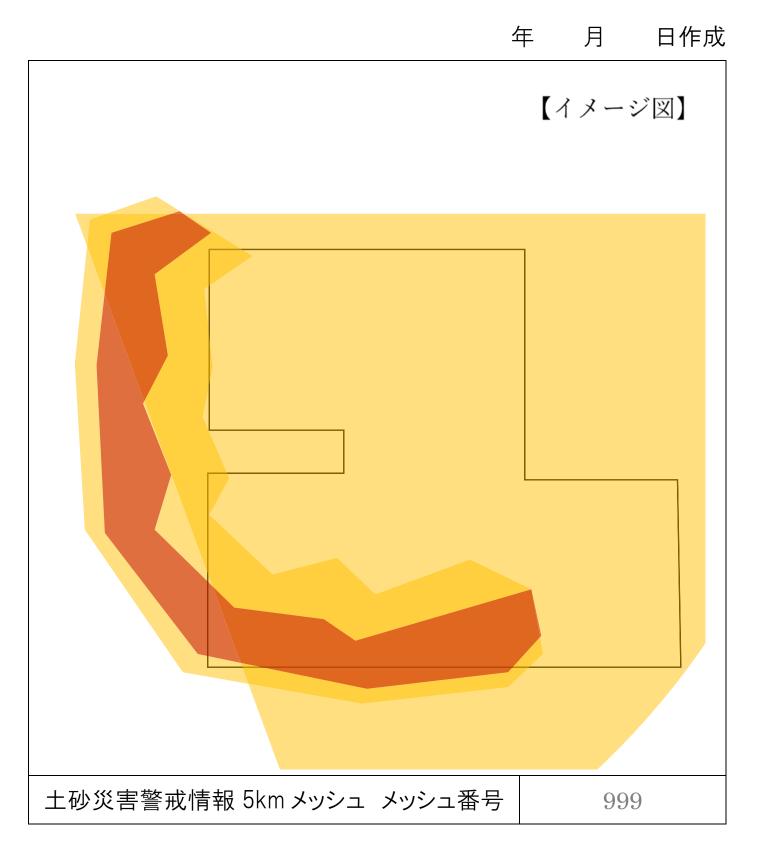
土砂災害の危険性について、様式 1-1 に本施設周辺の土砂災害警戒区域 等を整理するとともに、状況を加味した避難対応を様式 1-2 に示す。

(様式1-1)

■当該施設で想定される土砂災害の危険性

【主担当:施設管理者】

本施設周辺の土砂災害警戒区域等を下図(または別紙)に示す。



(様式1-2)

日作成

■当該施設の避難タイプ(総合判断表)

【主担当:施設長】

月

年

本施設の避難タイプを下表に示す。

施設の立地・構造・階数条件に応じた避難タイプ B Α ■施設外避難原則タイプ ■施設内避難可能タイプ 施設外への避難が原則です。た 施設内での避難が可能です。ただ だし、以下の点に留意する必要があ し、以下の点に留意する必要がありま ります。 す。 ア 利用者や運営体制からみた避難行動実施可能性 ・台風や移動性低気圧など、ある程 ・想定を超えた被災をする可能性があ 度降雨の予想ができる場合が望ま る ・停電等に伴う施設機能の低下によっ しい ・避難受入先との連携が必要となる て想定した避難ができない場合がある ・避難中に被害に遭うリスクがある ・孤立被害につながる可能性がある ■施設外避難原則タイプ (準備段階) ■施設内避難可能タイプ(準備段階) 施設内での避難が必要な立地・構 施設外への避難が必要な立地・ 造・階数の条件にありますが、利用者や 構造・階数の条件にありますが、利 用者や運営体制面で避難が困難で 運営体制面で避難が困難です。 状況を改善するには、スタッフを増や す。 状況を改善するには、スタッフを増 して利用者に見合った運営体制を実現 やして利用者に見合った運営体制 するか、外部機関・施設による支援体制 を実現するか、外部機関・施設によ を強化する等の方策により「施設内避難 可能タイプ」を目指すことが考えられま る支援体制を強化する等の方策に より「施設外避難原則タイプ」を目指 す。 すことが考えられます。 また、体制はそのままであっても、設備 の改良や避難対象となる利用者の入居 形態の見直し等を行うことにより、状況を 改善することも考えられます。

本施設は

施設外避難原則タイプ

です。

(様式2)

■土砂災害に対する状況想定

本施設で考えられる要配慮者の避難対応が必要となるような土砂災害発生 時の状況を、下記に整理する(該当するチェック欄にチェック)。

また、それぞれの想定に応じて、様式 2-1(様式 2-2)に参集基準及び体制 を整理する。

☑当施設は入所系施設であるため、下記の状況を想定し、 様式 2-1 に参集基準及び体制、避難(待避)基準を示す

想定1. 天候悪化などにより、避難(待避)対応が必要となる状況

- 想定2. 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、 <u>昼間から夕方にかけて避難(待避)対応が必要</u>となる状況
- 想定3. 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、 <u>夜間から明け方にかけて避難(待避)対応が必要</u>となる状況

□当施設は通所系施設・学校であるため、下記の状況を想定し、 様式 2-2 に参集基準及び体制、避難(待避)基準を示す

- 想定4. 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、 施設・学校を事前に休所・休校する対応がとれる状況
- 想定5. 台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき、 通常通りに施設・学校を開けているが、 施設・学校を休所・休校する対応がとれる状況

(様式2①)

■役割分担表【主担当:施設長】

年 月 日作成

<当該施設>

担当	業務内容	担当者	備考
総括責任者	 ☑ 総括責任(避難判断、防災対応についての指揮ほか全般) ☑ 関係機関との連絡・調整 	 □ 総括責任者:施設長 □ 代理①:部長 □ 代理②:課長 	
情報収集 ·連絡班	 ☑ 気象・災害の情報収集 ☑ 職員への連絡、職員・職員家族の安 否確認 ☑ 関係機関との連絡・調整 ☑ 利用者家族への連絡 ☑ 地域住民やボランティア団体、近隣 の社会福祉施設への救援要請等 ☑ 避難状況のとりまとめ 	□ リーダー: 部長 □ 代理①: 課長 □ 代理②: 係長 □ メンバー: 適宜指示を出す	
避難誘導班	 ☑ 利用者の安全確認 ☑ 施設、設備の被害状況確認 ☑ 利用者への状況説明 ☑ 利用者の避難誘導 ☑ 利用者の家族への引き渡し ☑ 利用者家族への連絡 	□ リーダー:課長 □ 代理①:係長 □ 代理②:主任 □ メンバー:適宜指示を出す	
物資班	 ☑ 物資の普段からの維持管理 ☑ 物資の運搬 ☑ 物資の被災時の管理 □ 	□ リーダー: 係長 □ 代理①: 主任 □ 代理②: リーダー □ メンバー: 栄養士、 適宜指示を出す	

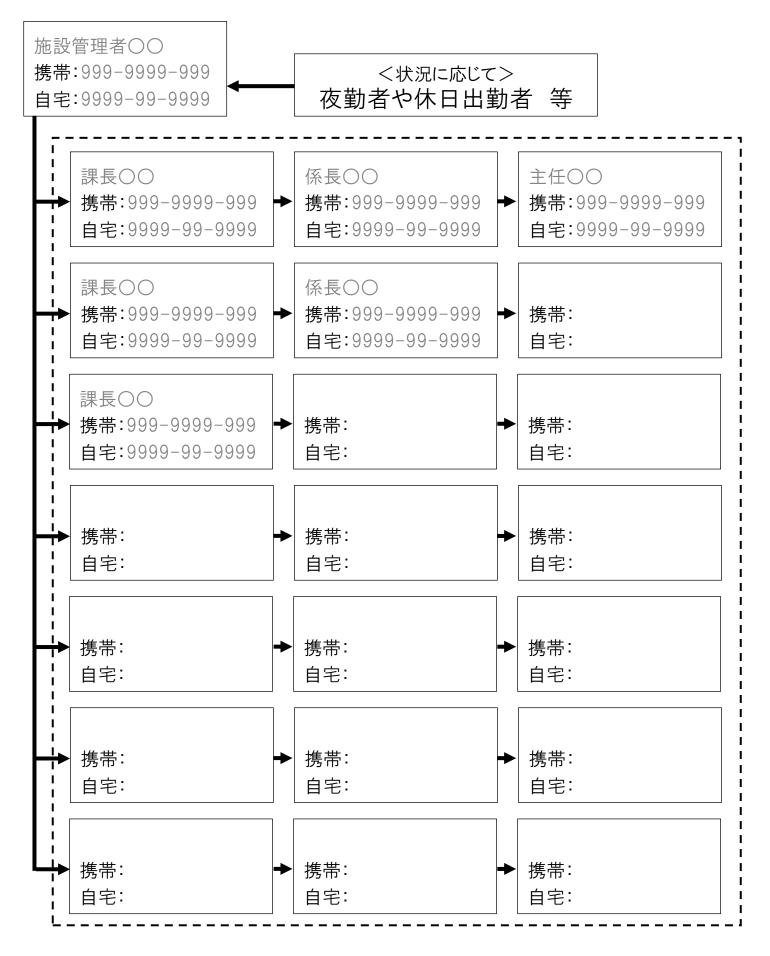
<協力施設>

担当	業務内容	協力施設·担当者	備考
協力施設	 ☑ 当該施設へ職員を派遣し、 災害支援にあたる ☑ 避難者の受入れを担当する □ 	高齡者福祉施設〇〇 障害者支援施設〇〇	

(様式22)

■緊急連絡網【主担当: 連絡網整備担当 】

年 月 日作成



(様式2-1)

■参集基準及び体制、避難(待避)基準【主担当:施設長】

					年	月 日作成
	☑ 想定1		☑ 想定2		☑ 想定3	
	天候悪化などにより、避難	<u> ŧ(待避)対応が</u>	台風接近などによりあらか	じめ状況が想定でき、	台風接近などによりあらか	いじめ状況が想定でき、
	<u>必要</u> となる		<u>昼間から夕方にかけて避難(待避)対応が</u>		夜間から明け方にかけて	避難(待避)対応が
			必要となる		必要になる	
体制	参集基準	出動体制	参集基準	出動体制	参集基準	出動体制
第一次体制	☑ 近隣市町村で	□ 総括責任者	□ 近隣市町村で	□ 総括責任者	□ 近隣市町村で	☑ 総括責任者
今後の状況に備	大雨注意報が発表	☑ 情報収集·連絡班	大雨注意報が発表	☑ 情報収集·連絡班	大雨注意報が発表	☑ 情報収集·連絡班
えて情報を収集		□ 避難誘導班	☑ 前日から対応	□ 避難誘導班	☑ 朝から対応	□ 避難誘導班
したり、関係者に		□ 物資班		□ 物資班		□ 物資班
連絡をとったりで				☑ (夜勤者)		
きる体制						
第二次体制	☑ 大雨注意報が発表	□ 総括責任者	□ 大雨注意報が発表	☑ 総括責任者	□ 大雨注意報が発表	☑ 総括責任者
施設利用者の		☑ 情報収集·連絡班	☑ 朝から対応	☑ 情報収集·連絡班	☑ 朝から対応	☑ 情報収集·連絡班
避難(待避)準		☑ 避難誘導班		☑ 避難誘導班	□ 昼から対応	☑ 避難誘導班
備をおこなえる		☑ 物資班		☑ 物資班		☑ 物資班
体制						
第三次体制	☑ 大雨警報	☑ 総括責任者	口 大雨警報	☑ 総括責任者	口 大雨警報	☑ 総括責任者
施設利用者の	(土砂災害)が発表	☑ 情報収集·連絡班	(土砂災害)が発表	☑ 情報収集·連絡班	(土砂災害)が発表	☑ 情報収集·連絡班
避難(待避)を		☑ 避難誘導班	□ 朝から対応	☑ 避難誘導班	□ 朝から対応	☑ 避難誘導班
開始できる体制		☑ 物資班	☑ 昼から対応	☑ 物資班	☑ 昼から対応	☑ 物資班
		☑(全職員)		☑ (全職員)	ロ タ方から対応	☑ (全職員)
避難(待避)基	☑ 避難準備·高齢者等》	避難開始 が発令	☑ 避難準備·高齢者等》	避難開始 が発令	☑ 避難準備·高齢者等》	壁難開始 が発令
準	☑ 土砂災害警戒情報 ;	が発表	☑ 土砂災害警戒情報 ;	が発表	☑ 土砂災害警戒情報 ;	が発表
	□ 累積雨量が()mm を超過	□ 累積雨量が()mm を超過	□ 累積雨量が()mm を超過
	□ 時間雨量が()mm を超過	□ 時間雨量が()mm を超過	□ 時間雨量が()mm を超過
	☑ 前兆現象 を確認		☑ 前兆現象 を確認		☑ 前兆現象 を確認	
)	□ 日勤者が出勤してきた	-タイミング	☑ 日勤者が退勤する前(のタイミング
)))

(様式3)

)

■情報収集・伝達事項の整理

本施設に関わる災害の危険性などを把握するために情報収集をおこなうととも に、職員や外部機関、利用者家族などへの情報伝達をおこなうことで、円滑かつ 迅速な避難誘導へと繋げること目指し、情報収集・伝達事項について、下記に整 理する。

- (1) 情報収集及び情報伝達を担う担当者
 - ・様式 2① に示す「情報収集・連絡班」を基本とする
 - ・夜間や休日など通常体制と異なる場合は、
 「情報収集・連絡班」が参集するまで在勤者が役割を担う
 ・そのほか
- (2) 情報収集

(

・収集する主な情報及び収集方法を、様式 3-1 に整理する。

- ・基本的には、下記のような情報を対象とする。
 - "気象情報"・"避難情報"などの行政からの情報
 - "雨量"などの実測値
- 施設周辺で確認される"土砂災害の予兆現象"など ・そのほか
- (
- (3) 情報伝達
 - ・入手情報の伝達・共有ルートを様式 3-2 に整理する。
 - ・また、外部機関との連携が想定される場合には、あらかじめ その旨を相談し、緊急連絡先として整理する。
 - ・そのほか
 - (

)

)

■入手情報の概要・入手方法等 【主担当:情報収集・連絡班 】

(様式3-1)

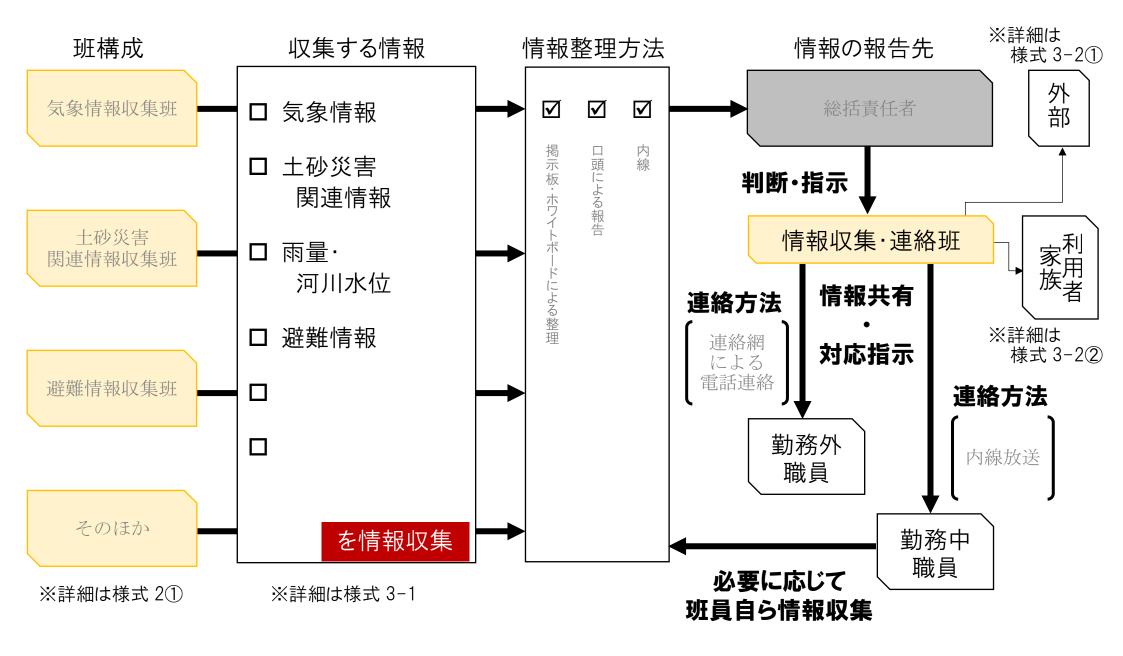
年 月 日作成

※事前にウェブサイトをお気に入り登録するなどして、緊急時に備える【使用するPC: 利用者情報登録用PC】

	情報名	概要	活用場面	主な入手方法	備考
気象情報	大雨注意報/	災害がおこるおそれのあるときに気象庁が発表す	☑ 体制の移行	テレビ、ラジオ、	
	大雨警報/	る雨の強さを表した基準	□ 避難判断	ウェブサイト	
	大雨特別警報			そのほか()	
	記録的短時間大雨情報	数年に一度程度しか発生しないような大雨時に発	□ 体制の移行	テレビ、ラジオ、	
		表。現在の降雨が災害の発生につながる可能性	☑ 避難判断	ウェブサイト	
		があることを意味する		そのほか()	
	天気予報·台風情報·	数日・週間単位の天気の移り変わりを把握するた	☑ 体制の移行	テレビ、ラジオ、	
	雨雲の様子等	めに特に重要となる情報	□ 避難判断	ウェブサイト	
				そのほか(自治体メール)	
土砂災害	土砂災害警戒情報	大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、	□ 体制の移行	テレビ、ラジオ、	
関連情報		危険度がさらに高まったときに、市町村単位で警	☑ 避難判断	ウェブサイト	
		戒をよびかける情報		そのほか()	
	土砂災害警戒判定	土砂災害警戒情報、大雨警報等を補足する情	□ 体制の移行	ウェブサイト	
	メッシュ情報	報。5km 四方の領域(メッシュ)ごとに土砂災害発	☑ 避難判断	そのほか()	
		生の危険度を5段階に判定した結果を表示			
	土砂災害の予兆現象	土砂災害発生前には、予兆現象が確認されるこ	□ 体制の移行	施設職員の目視、	
		とがある。各種情報が発表・発令されていない状	☑ 避難判断	ライブカメラ	
		況においても有益な情報として活用できる		そのほか()	
雨量·	雨量情報	現状の雨量及び過去3日程度の雨量(累計雨	☑ 体制の移行	テレビ、ラジオ、	
河川水位		量)が確認できる(一定の雨量が長期間継続して	□ 避難判断	ウェブサイト	
		いる場合等注意が必要)		そのほか()	
	河川水位情報	現状の水位及び過去1日程度の水位変化が確	□ 体制の移行	テレビ、ラジオ、	
		認できる(一定の基準以上の水位上昇が確認で	□ 避難判断	ウェブサイト	
		きる場合等注意が必要)		そのほか()	
避難情報	避難準備·高齢者等避難	市町村から発令される避難の基準。要配慮者施	□ 体制の移行	テレビ、ラジオ、	
	開始/避難勧告/避難	設等では早めの避難が求められている。	☑ 避難判断	ウェブサイト	
	指示(緊急)			そのほか(戸別受信機)	

■入手情報の伝達・共有ルート 【主担当:情報収集・連絡班 】

(様式3-2) 年 月 日作成



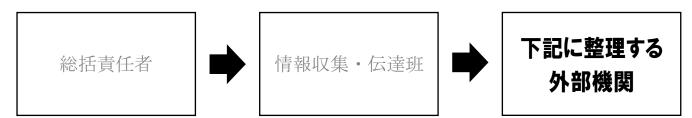
(様式3-2①)

■外部への情報伝達ルート及び緊急連絡先一覧表 【主担当:情報収集・連絡班】

年 月 日作成

1. 下記の際に外部へ情報伝達をおこなう (該当する体制をチェック)

- □ 第2次体制時 □ 第3次体制時 ☑ 避難(待避)行動開始時
- 2. 情報伝達ルートは下記のとおりである



3. 緊急連絡先一覧表を下記に整理する

連絡先	電話		FAX	担当者
建桁九		(夜間)		氏名
協力施設〇〇	9999-99-9999	9999-99-9999	9999-99-9999	00 00
医療施設〇〇	9999-99-9999	9999-99-9999	9999-99-9999	00 00
自治体防災課	9999-99-9999	9999-99-9999	9999-99-9999	00 00
自治体福祉課	9999-99-9999	9999-99-9999	9999-99-9999	00 00
自治体消防本部	9999-99-9999	9999-99-9999	9999-99-9999	00 00
消防·救急	119	119		
警察	110	110		

(様式3-2②)

■施設利用者把握資料【主担当: 利用者管理担当者 】

年 月 日作成

①利用者一覧表(基本情報)

番号	部屋	氏名	生年月日	性別	移動時の支援の要否
1	101	00 00	9999/99/99	男	必要(車椅子)
2	102	00 00	9999/99/99	男	不要
3	103	00 00	9999/99/99	女	必要(寝たきり)

②利用者一覧表(個票)

番号		1
部 屋		101
氏名		00 00
生年月日		9999/99/99
性別		男
心身の状態		高血圧
服用中の薬		降圧薬(毎食後)
搬送方法		車椅子、乗用車
避難に係る	留意事項	目が悪いため、車椅子などで搬送する必要がある
	氏名	00 00
連絡先1	続 柄	長男
電話		999-9999-9999
	氏名	
連絡先2	続 柄	
	電話	

(様式4)

■緊急時の避難誘導

避難誘導については、下記のとおり行う。

- (1) 避難場所
 ・避難場所の名称を下表に整理するとともに、
 様式 4-1 または 様式 4-2 で図示する。
- (2) 避難経路

・避難経路について 様式 4-1 または 様式 4-2 で図示する。

(3) 避難誘導

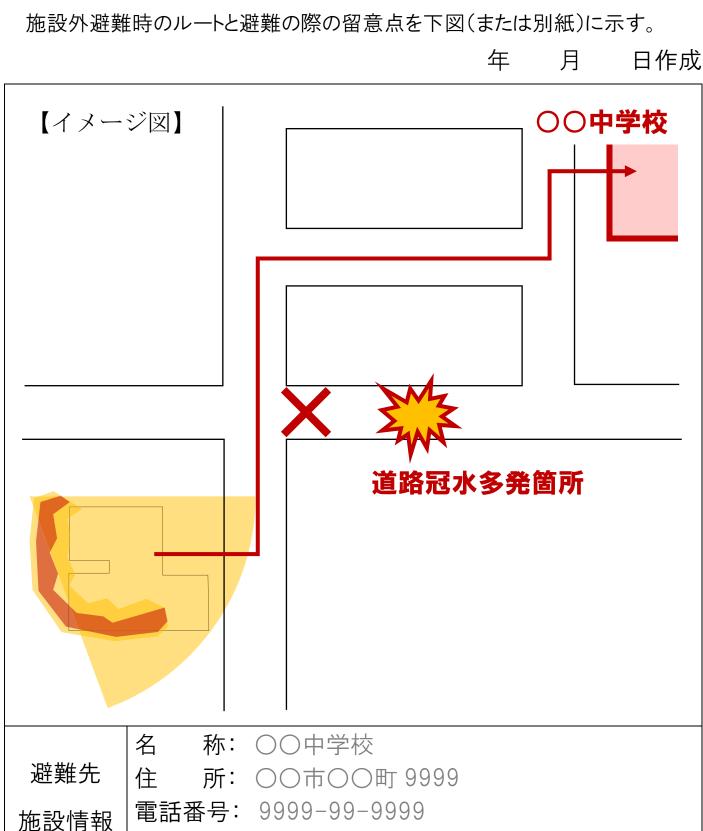
・避難場所までの移動距離及び移動手段を下表に整理する。

施設タイプ チェック (5ページ結果)	避難 方法	避難場所	移動 距離	移動 手段
✓	施設外 避難 原則	〇〇中学校	(500) m	☑ 徒歩 ☑ 車両 (5)台
	施設内 避難 可能			

- ※施設外避難が原則な場合においても、 大雨等で施設外避難が困難だと想定される場合には、 施設内で比較的安全と思われる場所へ待避を行う。
- ※施設内待避が可能な場合においても、 今後の状況悪化に不安がある場合などにおいては、 避難時間に余裕がある場合のみ施設外避難を行う。

(様式4-1)

■避難ルートと留意点 【主担当:避難誘導班】



担当者: 00 00

(様式4-1①)

施設外避難

■配車計画表

【主担当:避難誘導班】

年 月 日作成

配車計画表

便名	3 号車				
移送先	〇〇中学校	人数	3 名		
施設内誘導担当	00 00				
避難先担当	00 00				
車両	ダイハツ 〇〇				
運転手	00 00				
同乗者	00 00,00 00,00 00				
乗車場所	施設駐車場				
内訳	座席		4 名		
	車いす		0名		
	リクライニング式車いす	F	0名		
	ストレッチャー		0 名		

■備蓄品および災害時必要品チェックリスト (様式5)

【主担当:物資班】

年 月 日作成

避難(待避)の確保を図るため、下表に示す備品(チェックを入れたもの、括弧内には個数)を準備する。また、日頃からその維持管理に努めるものとする。

大 区分	小 区分	品名	必要 物資	携行 品	備蓄品	品名	必要 物資	携行 品	備蓄品
食 料		米(130人分)	✓	✓		お菓子類()			
	食料品 等	飲料水(130 人分) [1 人 1 日 3 リットル]	~	~		栄養補助食品(130 人分) [経管栄養剤、ブリックゼリー等]	~	\checkmark	
	Ŀ								
		カセットコンロ(10)	\checkmark	\checkmark		厨房の大きな鍋(2)	✓		
	炊事	炊飯器(5)	\checkmark			やかん(2)	✓		
	道具等	紙皿(130 人分)	\checkmark	✓		割り箸(130 人分)	✓	✓	
		サーバー一式				事務所ノート PC(3)	✓	\checkmark	
	情報	カルテ管理用 PC	\checkmark	✓		携帯電話(各自)	✓	✓	
	機器等	テレビ(1)	\checkmark			ラジオ(1)	✓	\checkmark	
		ファックス(1)	\checkmark						
		ビレットヘ゜ーハ゜ー(5 ケース)	\checkmark	\checkmark		ティッシュペーパー(5 ケ-ス)	✓	\checkmark	
		リハヒ゛リハ゜ンツ M・L(5 ケース)	\checkmark	\checkmark		紙オムツ M・L(5 ケース)	✓	\checkmark	
	生活	尿取りパット夜用(5ヶ-ス)	\checkmark	✓		ウェットティッシュ(5 ケース)	✓	\checkmark	
日	用品等	ポータブルトイレ(5ヶ-ス)	\checkmark	✓		女性用ナプキン(5ヶ-ス)	✓	\checkmark	
日常生活品		吸いのみ()				石けん()			
古品		ごみ袋(5ヶ-ス)	\checkmark	✓					
		石油ストーブ(5)	✓			カセットガスストーブ()			
		石油()				蓄電池()			
	照明、	カセットガス発電機()				懐中電灯(10)	✓	\checkmark	
	暖房等	ローソク(10 ケ-ス)	\checkmark	✓		電池(20ヶ-ス)	✓	\checkmark	
		ライター(5ヶ-ス)	\checkmark	✓					
		利用者書類一式	\checkmark	✓		小口金庫			
	その他	勤務表	\checkmark	✓					
		体温計(10)	\checkmark	✓		血圧計(10)	✓	\checkmark	
	医療品	SP02()				各ユニット薬の板			
	等	解熱剤()				補液()			
医		AED()				消毒液(5ヶ-ス)	✓	✓	
医療介護用品	移送	ストレッチャー(3)	✓	✓		車椅子(10)	✓	✓	
護田	用具等								
品		酸素濃縮機())				酸素ボンベ(5)	\checkmark	\checkmark	
	医療	吸引器(5)	\checkmark	\checkmark		吸引チューブ()			
	施設用	マスク(10ケ-ス)	\checkmark	\checkmark		手袋 M·L(5ヶ-ス)	✓	\checkmark	

(様式6)

年 月 日作成

■教育・訓練の年間計画

下記のとおり、教育・訓練を実施する。なお、具体の月日や内容については、施設の状況を勘案しその都度検討することとする。

┍→	①避難確保計画の更新・共有	実施予定月	4 月					
	新年度の切り替わりの時期において、 新たな体制を反映した避難確保計画へと更新するとともに、 各班・各職員が避難確保計画を共有できるように努める。							
	②避難に関わる教育・説明	実施予定月	4 月					
	避難対応の必要性が高まる出水期 職員や利用者(家族)を対象に、 避難時に必要となる知識や災害に ※必要に応じて、随時実施する							
	③訓練の実施	実施予定月	5~6 月					
	避難対応の必要性が高まる出水期(6月~10月)に向けて、 職員や利用者(家族)を対象に、 避難確保計画に基づく訓練を実施し、その実効性を確認する。							
	④避難確保計画の検証	実施予定月	5~6 月					
	上記の"避難に関わる教育・説明"、"訓練の実施"や、 出水期(6月~10月)の対応を踏まえて、避難確保計画の 実効性について検証をし、課題や問題の解決に努める。							